

| 会社番号 コード | シート 番号 | 作成 | 会社名 | 建物名称(正式) | 建物名称(検案用) | 種別 | 概要 | 発注者 | 改修設計者 | | | | | 改修施工者 | | | | | 都道府県 | 建物用途 (12択・複数) | | | | | | | | | | | | 規模 | 改修方法 (9択・複数) | | | | | | | | | 改修効果 | 竣工年 | 改修竣工年 | 耐震改修の特徴 | 要約 | | |
|-------------|-----------|--------|----------|--------------------------------|--------------------------|----|-----------------------------------|-----------------|--------------|-------------|---|---|---|-------|-------------|---------|---|--------|------|------------------|----------------|--------|--------|---------------------|--------|--------|-------------|--------------|---------|-------------|--------|----|-----------------|--------------|--|--------------|---|-------------------|---|---|--|---|-----|-------|---------|----|---------------|-------------|
| | | | | | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 事務所・庁舎 | | 研究 所 | 美術 館・博 物 | 学 校 | 病 院 | 工 場・物 流施 設 | 物 販 | 飲 食 | ホ テ ル | 集 合住 宅 | 集 会場 | そ の 他 | 地 上 | | 地 下 | 強 度向 上 | 靱 性向 上 | 免 震改 修 | 制 震改 修 | 仕 上 げ改 修 | 天 井改 修 | 設 備改 修 | 基 礎の耐 震改 修 | | | | | | 液 状化対 策 | そ の 他 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 01-001 | 2012年度 | 青木あすなろ建設 | 白鳥職員寮・敬老館 | 白鳥職員寮・敬老館 | | 集合住宅への耐震補強の適用 | 葛飾区 | 青木あすなろ建設(株) | | | | | | 青木あすなろ建設(株) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 最大層間変形角：1/250、および、Is≧0.6 | | 1972 | 2003 | 供用しながらの改修、高耐震性能、低騒音・低粉塵の施工、短工期施工、ローコスト施工 | 集合住宅に対して耐震補強を実施した例である。補強に対する発注者の意向は、耐震性能を確保した上で、出来るだけ改修範囲を少なくした設計とすること、また、居住者が移転することなく工事を行うことであった。これらを踏まえ、主に建物外部に制震ブレースを設置して住戸へ立ち入ること無く工事を行う計画とし、また、施工時には居住者や近隣に配慮した計画をたてることにより、支障をきたすことなく工事を行った。 | | | | | | |
| 1 | 01-002 | 2012年度 | 青木あすなろ建設 | クラウンハイ | クラウンハイ | | 民間分譲マンションへの耐震補強の適用 | クラウンハイ | 江戸川建築設計共同組合 | 青木あすなろ建設(株) | | | | | 青木あすなろ建設(株) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 最大層間変形角：1/125(SRC造部：1~5階) 1/150(RC造部：6~9階)、および、Is≧0.6 | | 1973 | 2011 | 供用しながらの改修、高耐震性能、低騒音・低粉塵の施工、短工期施工、ローコスト施工 | 民間分譲マンションに対して耐震補強を実施した例である。補強に対する発注者の意向は、居住者が移転することなく工事を行うことであり、これを踏まえて、住戸部である3階以上には建物外部に制震ブレースを設置する計画とした。なお、1、2階の事務所には鉄骨ブレースおよび耐震壁の増打ち補強を施している。補強工事にあたり、行政よりの助成金を取得している。 | | | | | | | | |
| 1 | 01-003 | 2015年度 | 青木あすなろ建設 | 三鷹芙蓉ハイ | 三鷹芙蓉ハイ | | 東京都特定緊急輸送道路沿道マンションへの耐震補強の適用 | 三鷹芙蓉ハイ | 青木あすなろ建設(株) | | | | | | 青木あすなろ建設(株) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 最大層間変形角：1/125 | | 1977 | 2015 | 供用しながらの改修、高耐震性能、資産価値向上、助成金適用、緊急輸送道路沿線の安全確保 | 本物件は、管理組合の改修に対する強い意思と供用しながらとする施工条件に対して耐震改修を適用できた好例である。また、発注者として要望があった断下側のみの補強材設置を、制震工法によって実現することができた。制震工法による高い耐震性の確保と行政よりの助成金を取得している。 | | | | | | | | |
| 1 | 01-004 | 2015年度 | 青木あすなろ建設 | 羽根木マンション | 羽根木マンション | | 東京都特定緊急輸送道路沿道マンションへの耐震補強の適用 | 羽根木マンション | 青木あすなろ建設(株) | | | | | | 青木あすなろ建設(株) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 最大層間変形角：1/150 | | 1974 | 2014 | 供用しながらの改修、高耐震性能、資産価値向上、助成金適用、緊急輸送道路沿線の安全確保 | 本物件は、管理組合の改修に対する強い意思と供用しながらとする施工条件に対して耐震改修を適用できた好例である。また、発注者として要望があった敷地の狭い南面バルコニー側の補強材設置を、杭不要の袖壁を介する制震工法によって実現することができた。制震工法による高い耐震性の確保と行政からの助成金を取得している。 | | | | | | | | |
| 1 | 01-005 | 2015年度 | 青木あすなろ建設 | ライオンズマンション新小岩第2 | ライオンズマンション新小岩第2 | | 東京都特定緊急輸送道路沿道マンションへの耐震補強の適用 | ライオンズマンション新小岩第2 | 江戸川建築設計共同組合 | 青木あすなろ建設(株) | | | | | 青木あすなろ建設(株) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 最大層間変形角：1/125 | | 1979 | 2015 | 供用しながらの改修、高耐震性能、資産価値向上、助成金適用、緊急輸送道路沿線の安全確保 | 本物件は、管理組合の改修に対する強い意思と供用しながらとする施工条件に対して耐震改修を適用できた好例である。また、発注者として要望があったバルコニー側のみの補強材設置を、制震工法によって実現することができた。制震工法による高い耐震性の確保と行政よりの助成金を取得している。 | | | | | | | | |
| 2 | 02-001 | 2019年度 | 新井組 | 西宮市菅住宅上ヶ原七番町5・6号棟耐震改修他工事【DB方式】 | 西宮市菅住宅上ヶ原七番町5・6号棟耐震改修他工事 | | デザインビルド提案で市営住宅を居ながら耐震改修施工 | 西宮市 | (株)新井組 | | | | | | (株)新井組 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Is>Iso(性能評価取得工法) | | 1973 | 2018 | DB発注方式、居ながら施工、入居者への影響低減、アウトフレーム工法や安寝ブロック工法の採用により、工期短縮や施工効率性の向上を図り、居ながら施工の入居者への負担を極力低減した。 | デザインビルド(DB)発注方式による市営住宅(1973年竣工旧耐震基準)の耐震改修工事である。耐震補強(スマイルダンパフレーム工法)や安寝ブロック工法の採用により、工期短縮や施工効率性の向上を図り、居ながら施工の入居者への負担を極力低減した。 | | | | | | | | |
| 2 | 02-002 | 2023年度 | 新井組 | 武庫川団地17号棟他2棟耐震改修その他工事 | 武庫川団地17号棟他2棟耐震改修その他工事 | | 外付け鉄骨ASOFR工法による居ながら耐震改修で居住者の負担を軽減 | 都市再生機構 | (株)新井組 | | | | | | (株)新井組 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Is>Iso | | 1978 | 2023 | 居ながら施工、基礎杭削減、強度型・靱性型建物対応、アンボンドブレース、ユニット化 | 性能発注物件である標準案に対する技術提案として、独自保有特許技術の外付け鉄骨ASOFR工法の採用により、施工工事の軽減、補強構面数の減、異なる性状の2棟の補強計画の統一を行った。 | | | | | | | | |
| 3 | 03-002 | 2012年度 | 浅沼組 | 東京工業大学(すずかけ台)総合理工学研究棟3号館 | 東京工業大学(すずかけ台)総合理工学研究棟3号館 | | 五重塔の心柱構造を応用した新たなトロッフィット手法による耐震改修 | 国立大学法人 東京工業大学 | (株)総合企画設計 | | | | | | (株)浅沼組 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 相対変位：1/250以下 | | 1979 | 2010 | 供用しながらの補強、ロッキング壁、鋼材ダンパー、特定層の破壊防止、交換可能な制震ダンパー | 東工大で考案された五重塔の心柱構造を応用した耐震構法を初めて採用している。オリジナルデザインを尊重し、外部に剛強なRC造の連層耐震壁(ロッキング壁)を6箇所設置し、既存建物と鋼製ダンパーをつなぎ、地震時に建物各層の層間変形角を揃えて特定層の破壊防止をしている。 | | | | | | | | |
| 3 | 03-003 | 2022年度 | 浅沼組 | 奈良市本庁舎 | 奈良市本庁舎 | | 外付けフレームなど多様な工法を採用した市庁舎の居ながら耐震改修 | 奈良市 | (株)安井建築設計事務所 | | | | | | (株)浅沼組 | 三和建設(株) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Is>Iso | | 1977 | 2021 | 共用しながらの補強、BCP(事業継続性)向上、外付けフレーム、鉄骨ブレース接着工法 | 築40年の本庁舎における「居ながら工事」の耐震改修工事。荷重軽減を行い外部に鉄筋コンクリート造と鉄骨ブレースを組み合わせた外付け耐震工法を採用。内部においては既存躯体への鉄骨ブレース補強、地下柱は包帯補強(SRF)、増設壁は無収縮高流動コンクリート(フィルクリート)を使った壁など多様な工法にて建物の耐震性能の向上を図った。 | | | | | | | | |
| 5 | 05-002 | 2012年度 | 安藤・間 | 某中学校・高等学校男子寄宿舎耐震改修工事 | 某中学校・高等学校寄宿舎 | | ラーメンフレームによる窓を塞がない外付け耐震改修 | 匿名 | (株)安藤・間 | | | | | | (株)安藤・間 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 極稀最大応答1/100以下換算Is>Iso=0.7 | | 1978 | 2010 | 供用しながらの改修、高耐震性能、低騒音・低粉塵の施工、助成金適用 | ブレースを用いない外構面耐震補強構法「KG構法」を採用して耐震補強を行ったものである。KG構法の採用により、低騒音・低振動での施工による建物を使用しながらの改修と耐震補強による高い耐震性を同時に実現した。また、KG構法は開口部を塞がない外付け構法であるため、改修後も日照や景観に影響がない点についても使用者から好評を得ている。 | | | | | | | | |
| 5 | 05-003 | 2012年度 | 安藤・間 | 市川市立南行徳小学校 | 市川市立南行徳小学校 | | 外付けブレースにより建物の耐震性能を改善 | 市川市 | (株)安藤・間 | | | | | | (株)安藤・間 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Is>Iso | | 1975 | 2006 | 供用しながらの改修、短工期施工、低騒音・低粉塵の施工、高耐震性能 | 本物件は、公算型プロポーザル・デザインビルド方式による補強提案の募集においてOFB工法による補強の提案が採用され、耐震補強を行ったものである。OFB工法での補強により、教室の採光等の環境、バルコニーの使用性等に影響を与えずに、建物の耐震性能を向上させることができた。室内側の工事がほとんどなく、建物を使用しながらの施工を可能とした。 | | | | | | | | |
| 8 | 08-001 | 2012年度 | 大林組 | 中尊寺本堂 | 中尊寺本堂 | | 伝統木造建築における「外観・使い勝手を変えない」耐震改修の実現 | 宗教学法人 中尊寺 | (株)大林組 | | | | | | (株)大林組 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 明治42年(1909)に再建され、構法は土壁を主な耐震要素とした伝統木造建築であります。平成23年3月11日の東北地方太平洋沖地震において土壁の一部にひび割れが生じ、平泉が世界文化遺産に指定されたことから構造安全性確保のため、耐震改修を行うこととなりました。当社開発の高耐力高靱性壁「スーパー板壁工法」の採用により、建物を使用しながらの改修と高い耐震性を同時に実現した。 | 1909 | 2012 | 供用しながらの改修、震災復興 | | | | | | | | |
| 8 | 08-002 | 2012年度 | 大林組 | 大和文華館 | 大和文華館 | | 所蔵美術品に影響を与えない低粉塵・低騒音工法を採用 | 近畿鉄道(株) | ブレイスメディア | (株)大林組 | | | | | (株)大林組 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 平成22年(2010年)に開館50周年を迎えるあたり、老朽化した美術館の機能を更新するため、50年の水きにわたって愛されてきた大和文華館を次の世代に引き継ぐため、創建時の理念を継承しつつ、最新の構造補強工法やバリアフリー化などにより大規模な改修工事を実施したものであり、所蔵美術品に影響を与えない工法を採用した好例である。 | 1960 | 2010 | 高耐震性能、低騒音・低粉塵の施工、短工期施工、ローコスト施工 | | | | | | |

| 会社 番号 コード | シート 番号 | 作成 | 会社名 | 建物名称（正式） | 建物名称（検索用） | 種別 | 概要 | 発注者 | 改修設計者 | | | 改修施工者 | | | 都道 府県 | 建物用途 (12択・複数) | 規模 | 改修方法 (9択・複数) | | | | | | | | | 改修効果 | 竣工年 | 改修竣 工年 | 耐震改修の特徴 | 要約 |
|-----------------|-----------|--------|-----|-------------------------------------|-----------------|----|------------------------------------|----------------------|---------------|--------|------------------------------|-------|---|--|----------|------------------|----|-----------------|---|---|--|--|---|-------------------------|--------------|------|---|--|---|---------|----|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | 08-003 | 2013年度 | 大林組 | パナソニック奈良工場耐震補強工事 | パナソニック奈良工場 | ○ | 騒音振動を与えない工法を採用 | パナソニック(株)アプライアンス社 | (株)大林組 | (株)大林組 | (株)大林組 | 奈良県 | ○ | | | | | 3 | 0 | ○ | | | | | Is>Iso | 1965 | 2010 | 短工期施工、ローコスト施工、低騒音・低粉塵の施工、高耐震性能 | 本物件は、室内の利用範囲制限が多く、騒音・振動の制限のある建物での耐震補強であった。室内の工事範囲を少なく、低騒音低振動で施工できる3Q-Braceを採用し、建物を使用しながらの改修と高い耐震性・意匠性を同時に実現することができた好例である。 | | |
| 8 | 08-004 | 2013年度 | 大林組 | 京阪藤の森ビル耐震補強工事 | 京阪藤の森ビル | ○ | 貸室に影響の少ない外付け耐震補強工法を採用 | 京阪電気鉄道(株) | (株)大林組 | (株)大林組 | (株)大林組 | 京都府 | ○ | | | | | 9 | 0 | ○ | | | | | Is>Iso | 1978 | 2011 | 意匠性確保 | 本物件は、室内の補強のみでは間仕切り壁が多くなり使用上問題が発生するため、外部での外付け鉄骨補強を計画した。外部の外付け耐震補強を意匠的に見せた耐震補強である。 | | |
| 8 | 08-005 | 2013年度 | 大林組 | 武庫川女子大学甲子園会館耐震補強工事 | 武庫川女子大学甲子園会館 | ○ | 建物特性に対応した耐震補強工法を採用した。後世へと付け継がれる名建築 | (学)武庫川学院 | (株)大林組 | (株)大林組 | (株)大林組 | 兵庫県 | ○ | | | | | 4 | 1 | ○ | | | ○ | | Is>Iso | 1930 | 2012 | 供用しながらの補強、短工期施工、低騒音・低粉塵の施工 | 武庫川女子大学が建築学科を設立するにあたり、昭和初期の名建築を外観・内観をることなく、耐震性を向上させ、建築を学ぶ学生がキャンパス生活を送ることができるように改修を行った。 2008年BELCA賞受賞。 | | |
| 8 | 08-006 | 2013年度 | 大林組 | 神戸商船三井ビル耐震補強工事 | 神戸商船三井ビル | ○ | 港町神戸のランドマークとしての景観を残した最適な耐震改修工法の実現 | (株)商船三井 | (株)大林組 | (株)大林組 | (株)大林組 | 兵庫県 | ○ | | | | | 7 | 1 | ○ | | | ○ | ○ | Is>Iso | 1922 | 2012 | 建物を使いながらの補強、短工期施工 | 本計画は築90年を超える商業施設（SRC造）であり、大地震時の建物の倒壊・崩壊防止を目的とした耐震改修として実施された。 港町神戸のシンボルとしての「美観」を損なうことなく、使いながらの耐震工事を実現した | | |
| 8 | 08-007 | 2013年度 | 大林組 | 川崎市菅川原町住宅耐震補強 | 川崎市菅川原町住宅 | ○ | 板状高層集合住宅の耐震補強のプロトタイプを目指して | 川崎市 | (株)大林組 | (株)大林組 | 大末建設(株) 相鉄建設(株) (株)小俣組 | 神奈川県 | ○ | | | | | 14 | 0 | | | | ○ | 最大層間変形角：1/25、 Is>Iso | 1975 | 2012 | 供用しながらの改修、板状高層集合住宅、耐震補強、コスト削減、工期短縮、スキップブレース | 以下の3つの特徴を持つ「スキップブレース耐震工法」を採用した補強事例である。①一層おきに既存建物の外部廊下側と連結させたメガ制振フレームを設けることで部材削減だけでなく開放性が確保できる。②二組の架構を一つは奇数階、もう一方は偶数階で結合させ全フロアの地震エネルギーを吸収しかつ既存建物との結合箇所数を減らすことができる。③背中あわせの2組の住棟を架構を介して連結させ、エキスパンションの改修工事を削減することができる。 | | | |
| 8 | 08-008 | 2013年度 | 大林組 | 四谷学院駅前ビル | 四谷学院駅前ビル | ○ | 予備校の授業と耐震補強工事の両立 | ブレーンバンク(株) | (株)大林組 | (株)大林組 | (株)大林組 | 東京都 | ○ | | | | | 8 | 1 | ○ | | | ○ | ○ | Is>Iso(=0.7) | 1971 | 2011 | 供用しながらの補強、短工期施工、低騒音・低粉塵の施工 | 本物件は予備校の校舎であり、土日も学生が授業を受けている建物です。2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震の発生を機に早急な耐震補強工事を行うようになりました。当社開発の「3Q-Brace」を採用する事により、予備校の授業と耐震補強工事の両立を実現する事ができた。 | | |
| 8 | 08-009 | 2015年度 | 大林組 | 四谷学院別館 | 四谷学院別館 | ○ | 予備校を稼働させながら耐震補強工事 | ブレーンバンク(株) | (株)大林組 | (株)大林組 | (株)大林組 | 東京都 | ○ | | | | | 10 | 1 | ○ | | | ○ | | Is>Iso | 1978 | 2013 | 供用しながら補強、高耐震性能、助成金適用、緊急輸送道路沿線の安全確保 | 物件は特定緊急輸送道路に面しており大地震に備える必要がありました。また建物の使用用途は予備校の校舎として使用されているため、早急に耐震補強工事を行うこととなりました。工事は休日も授業及び学生の学習の場として使用されている中で耐震補強工事を行うものであったが、綿密な施工計画で無事終了することができた。 | | |
| 8 | 08-010 | 2015年度 | 大林組 | シャンボール駒形 | シャンボール駒形 | ○ | 3Q-Wall工法を採用しマンションを耐震改修 | シャンボール駒形管理組合 | (株)大林組 | (株)大林組 | (株)大林組 | 東京都 | ○ | | | | | 11 | 1 | ○ | | | | | Is>Iso | 1982 | 2015 | 供用しながらの改修、資産価値向上、助成金適用、緊急輸送道路沿道の改修 | 本物件は、緊急輸送道路沿いのマンションにおいて、台東区民間特定建築物耐震改修工事等助成金の交付を受けて、耐震補強工事を行ったものである。3Q-Wall工法の採用により、建物を供用しながらの改修を実現した。 | | |
| 8 | 08-011 | 2015年度 | 大林組 | アピオあおもり（青森県男女共同参画センター・青森県子ども支援センター） | アピオあおもり | ○ | 落下防止措置による天井改修工事 | 青森県 | 青森県 | (株)大林組 | (株)大林組 | 青森県 | ○ | | | | | 3 | 1 | | | | ○ | | フェイルセーフ | 2001 | 2015 | 「天井落下防止措置」による技術により、短工期で実施、地震時に利用者の避難時間と避難空間を確保する。 | 本物件は、青森県による入札で各施工会社に「天井落下防止措置」の提案を募り行った天井改修である。当社は自社で開発したフェイルセーフシーリングのフラットバーネットタイプを提案し採用され、指定された工期と費用の中で実現した。 | | |
| 8 | 08-012 | 2015年度 | 大林組 | 池田・府市合同庁舎耐震補強等改修工事 | 池田・府市合同庁舎 | ○ | 低騒音・低振動工法を採用 | 池田市 | (株)大林組 | (株)大林組 | (株)大林組 | 大阪府 | ○ | | | | | 7 | 1 | ○ | | | ○ | | Is>Iso | 1973 | 2014 | 短工期施工、ローコスト施工、低騒音・低粉塵の施工、高耐震性能 | 本物件は、室内の利用範囲制限が多く、騒音・振動の制限のある建物での耐震補強であった。室内の工事範囲を少なく、低騒音低振動で施工できる耐震補強工法3Qシリーズを採用し、建物を使用しながらの改修と高い耐震性・意匠性を同時に実現することができた好例である。 | | |
| 8 | 08-013 | 2015年度 | 大林組 | 恒産第1ビル・恒産第3ビル耐震補強工事 | 恒産第1ビル・恒産第3ビル | ○ | 建物入居者に迷惑をかけない耐震補強工事 | (株)電通ワークス | (株)大林組 | (株)大林組 | (株)大林組 | 東京都 | ○ | | | | | 6 | 3 | ○ | | | ○ | | Is>Iso | 1977 | 2013 | 供用しながらの補強、低騒音・低粉塵の施工、デザイン性向上、助成金適用、緊急輸送道路沿線の安全確保 | 恒産第1ビルはテナントオフィスビル（一部音楽教室が入居）であるが、当社開発の「3Q-Wall、3Q-Column」を採用することにより執務への影響を最小限に抑えて工事を行った。恒産第3ビルもテナントオフィスビルであるが、外付け耐震補強工法の採用により、入居者の執務への影響を最小限に抑えて工事を行った。 | | |
| 8 | 08-014 | 2016年度 | 大林組 | 淑徳SC5号館耐震補強工事①棟・②棟 | 淑徳SC5号館 | ○ | 学校を稼働させながら耐震補強工事 | (学)淑徳学園 | (株)大林組 | (株)大林組 | (株)大林組 | 東京都 | ○ | | | | | 4 | 0 | ○ | | | ○ | | Is>Iso | 1961 | 2016 | 建物を利用しながらの補強工事、東京都補助金適用 | ①棟は屋内運動場の機能を損なうことのないよう、上部2層を減築することによる荷重低減を採用した。②棟は外付けブレースによる補強とし、建物を利用しながらの施工とした。 | | |
| 8 | 08-015 | 2017年度 | 大林組 | 志摩観光ホテル ザ・クラシック | 志摩観光ホテル ザ・クラシック | ○ | 歴史あるリゾートホテルの再生を果たし、伊勢志摩サミット会場として利用 | 近鉄不動産(株)、(株)近鉄・都ホテルズ | 全日本コンサルタンツ(株) | (株)大林組 | (株)堀崎組 | 三重県 | ○ | | | | | 6 | 3 | ○ | | | ○ | ○ | Is>Iso | 1969 | 2016 | 短工期施工、資産価値向上、助成金適用、BCP(事業継続性)向上、改築併用 | 竣工40年を過ぎ耐震改修の必要性が生じてきたことから、村野藤吾デザインを生かしたまま行なうRC耐震補強を採用。伊勢志摩サミット開催及び公共建築物耐震性能公表により第三者への信頼性をアピールでき、集客力向上の一助となった。 | | |
| 8 | 08-016 | 2017年度 | 大林組 | 帝劇ビル | 帝劇ビル | ○ | 劇場公演をしながら天井落下防止対策 | 東宝不動産(株) | (株)大林組 | (株)大林組 | (株)大林組 | 東京都 | ○ | | | | | 9 | 6 | | | | ○ | | 天井落下防止 | 1966 | 2017 | 供用しながらの改修 | 劇場を稼働しながら、夜間工事のみでフェイルセーフシーリングにより天井落下防止対策を行った。 | | |
| 8 | 08-017 | 2017年度 | 大林組 | 東京女子医科大学中央病棟耐震補強工事 | 東京女子医科大学中央病棟 | ○ | 病院を稼働させながら耐震補強工事 | 学校法人東京女子医科大学 | (株)大林組 | (株)大林組 | (株)大林組 | 東京都 | ○ | | | | | 12 | 2 | ○ | | | ○ | | Is>Iso | 1979 | 2017 | 供用しながらの補強、短工期施工、低騒音・低粉塵の施工、助成金適用 | 既存外壁はPC版を使用しており、PC版を取外すと建物内部への影響が大きいため内部耐震補強とした。3Q-Wall、3Q-Braceを使用することで、病院を稼働させながらの施工とした。 | | |
| 8 | 08-018 | 2018年度 | 大林組 | 東京高等学校1号館 | 東京高等学校1号館 | ○ | 学校を稼働させながら耐震補強工事 | 学校法人上野塾 | (株)大林組 | (株)大林組 | (株)大林組 | 東京都 | ○ | | | | | 4 | 0 | ○ | | | | | Is>Iso | 1976 | 2017 | 供用しながらの補強、短工期施工、低騒音・低粉塵の施工、助成金適用 | 耐震補強後に学校の校舎としての機能を損なうことのないように、既存の壁位置を利用する補強計画とした。3Q-Wallを使用することにより校舎が稼働した状態で施工を可能にした。 | | |

| 会社番号 コード | シート 番号 | 作成 | 会社名 | 建物名称（正式） | 建物名称（検索用） | 種別 | 概要 | 発注者 | 改修設計者 | | | | 改修施工者 | | | | 都道府県 | 建物用途 (12択・複数) | | | | | | | | | | | | | | | | 規模 | 改修方法 (9択・複数) | | | | | | | | | | | | | | | | 改修効果 | 竣工年 | 改修竣 工年 | 耐震改修の特徴 | 要約 |
|-------------|-----------|--------|------|-------------------------|-------------------------|----|---|----------------|----------------|--------|--|--|---------|--------|---------|-----|------|------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|----|-----------------|--|--|--|--|--|----------------|--------|--|--|--|---|---|---|--|--|------|-----|-----------|---------|----|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | 08-019 | 2021年度 | 大林組 | 獨協医科大学病院耐震補強工事 | 獨協医科大学病院 | ○ | 病院を継続しながらの耐震補強工事 | (学)獨協学園 | (株)NTTファイブティーズ | (株)大林組 | | | (株)大林組 | | 栃木県 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Is≥0.6 | 1974 | 2019 | 運営しながらの補強、短工期施工、低騒音・低粉塵の施工、助成金適用 | 3Q-Wall、3Q-Braceなど低振動・低騒音の工法を採用することで、病院を稼働させながらの施工を実現した。 | | | | | | | | | | |
| 8 | 08-020 | 2021年度 | 大林組 | 茨木カンツリー倶楽部クラブハウス | 茨木カンツリー倶楽部クラブハウス | ○ | 由緒風格あるゴルフ場クラブハウスに調和する耐震補強 | (一社)茨木カンツリー倶楽部 | (株)大林組 | | | | (株)大林組 | | 大阪府 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Is>Iso | 1963 | 2020 | 意匠性確保 使いながら補強工事 デザイン性 | 2023年の倶楽部設立100周年を見据えて耐震補強を実現した。重厚感ある特徴的な意匠を損なうことのない内外装に調和する耐震補強とした。透過性のある鋳鉄ブロックによる耐震壁を採用した。 | | | | | | | | | | |
| 8 | 08-021 | 2021年度 | 大林組 | 熊本城天守閣 | 熊本城天守閣 | ○ | ダンパー配置を省スペース化した制振補強 | 熊本市 | (株)大林組 | | | | (株)大林組 | | 熊本県 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Is>Iso 応答結果 | 1960 | 2021 | 震災復興、短工期施工、高耐震性能、資産価値向上 | 熊本市による「熊本城天守閣復旧整備事業プロポーザル」にて技術提案を行い、優先交渉権者に選定され、早期復旧を目指した。地盤面以下は、国指定特別史跡に指定されており、建物を支える既存基礎に作用する地震力の低減を図るため耐震補強を採用している。上層階の工事を先行する足場の掛け方の工夫や遠くからも工事進捗が見られる半透明の仮囲いなど、復興のシンボルとして着実に進み復旧を日々伝えることが出来た。 | | | | | | | | | | |
| 8 | 08-022 | 2022年度 | 大林組 | 新砂プラザ | 新砂プラザ | ○ | 長周期地震動対策としての制振補強 | JST(株) | (株)日本設計 | | | | (株)大林組 | | 東京都 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 応答解析 | 1993 | 2020 | 高耐震性能、長周期地震動対策、デザイン性向上、資産価値向上、助成金適用、BCP（事業継続性）向上 | 長周期地震動に対する安全性の確保を目的として、地震時の変形を抑制し、揺れの継続時間を短くするために、制振部材を追加設置する制振改修工事を実施した。 | | | | | | | | | | |
| 8 | 08-023 | 2023年度 | 大林組 | はまぎんホール ヴィアマール | はまぎんホール ヴィアマール | ○ | 複雑な形状の天井落下防止対策 大林組の「フェールセーフシーリング」 | (株)横浜銀行 | (株)大林組 | | | | (株)大林組 | | 神奈川県 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 落下防止 | 1993 | 2023 | 天井落下防止 | 音響性能や天井形状を変更しないことが求められ、かつ、重量増が認められない複雑な形状をした既存建物の特定天井の独自技術（フェールセーフシーリング）を用いた天井落下防止対策 | | | | | | | | | |
| 10 | 10-001 | 2012年度 | 奥村組 | 奥村組大筒町社宅 | 奥村組大筒町社宅 | ○ | プレキャストコンクリートによるアンカーアウトフレーム耐震補強工法 | (株)奥村組 | (株)奥村組 | | | | (株)奥村組 | | 兵庫県 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Is>Iso | 1977 | 2012 | 供用しながらの改修、高耐震性能、低騒音・低騒音工法、一体的デザイン | 居住者に対する改修工事の影響を抑えた事例である。住戸の外部のみで補強工事を実施でき、連結鋼管を用いることで、騒音・振動が発生しやすいと施工アンカーの数を削減した。また、プレキャストコンクリート部材の使用によって工期を短縮した。 | | | | | | | | | |
| 10 | 10-002 | 2013年度 | 奥村組 | 奥村組柏風寮 | 奥村組柏風寮 | ○ | 鋼板ブレース内蔵プレキャストコンクリート板による接着式耐震補強工法 | (株)奥村組 | (株)奥村組 | | | | (株)奥村組 | | 大阪府 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Is>Iso | 1973 | 2010 | 供用しながらの改修、高耐震性能、低振動・低騒音工法、乾式薄壁 | 本工法は、既存骨組の内側にX型の鋼板ブレースを内蔵したプレキャストコンクリート板を、エポキシ樹脂により接着剤で補強壁を増設する。鋼板ブレースも耐力を発揮するため、コンクリートの壁厚を薄くできる。プレキャストコンクリート板はエレベーターで搬入できる。 | | | | | | | | | |
| 10 | 10-003 | 2014年度 | 奥村組 | 若葉台第1共同住宅3-7棟 | 若葉台第1共同住宅3-7棟 | ○ | 住宅と店舗の上下階を継続使用しながら、免震階に工事を集約した中間階免震 | 神奈川県住宅供給公社 | (株)奥村組 | | | | (株)奥村組 | | 神奈川県 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 極稀な地震動に対し層間変形角1/400以下 | 1983 | 2013 | 供用しながらの改修、高耐震性能、低騒音・低粉塵の施工、資産価値向上、施工の安全性向上 | 本案件は、昭和58年に竣工した鉄骨鉄筋コンクリート造の集合住宅兼店舗を、免震建物に改修する工事である。中間階免震を採用するとともに、住宅共用部である3階（免震階）に工事範囲を集中するよう工夫したことにより、免震層上部の住戸と下部の店舗を継続使用しながらの施工が可能となった。 | | | | | | | | |
| 10 | 10-004 | 2015年度 | 奥村組 | 関門海峡海上交通センター局舎 | 関門海峡海上交通センター局舎 | ○ | 24時間海上交通の安全性を監視する業務を継続しながらの中間階免震改修 | 第七管区海上保安本部 | (株)総合企画設計 | | | | (株)奥村組 | | 福岡県 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 極めて稀な地震動に対し、 ・短期許容応力度以下 ・層間変形角1/350以下 ・居住床の応答加速度400cm/s ² 以下 | 1988 | 2014 | 供用しながらの改修、高耐震性能、低騒音・低粉塵の施工、施工の安全性の向上 | 本案件は昭和63年に竣工した海上交通センター局舎を、免震建物に改修する工事である。本建物は24時間におわたって海上交通の安全性を監視する施設であるため、中間階免震（1階柱頭免震）を採用することで免震層上部を継続使用しながら施工し、高い耐震性を実現した。 | | | | | | | | |
| 10 | 10-005 | 2016年度 | 奥村組 | サービス付き高齢者住宅アネモネ | サービス付き高齢者住宅アネモネ | ○ | 奥村式増打ち壁耐震補強工法（モルタル吹付けによる既存耐震壁の増打ち補強）の採用 | (医)守田会 | (株)奥村組 | | | | (株)奥村組 | | 大阪府 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Is>Iso | 1981 | 2016 | 増改築併用、BCP向上、低騒音・低粉塵の施工、工期短縮、省スペース | 建物の用途変更に合わせて、耐震壁を増設・増打ちするとともに、鉄骨ブレースを新設するなどの耐震補強を行った。耐震壁の増打ちにあたって、本建物がSRC造であることからあと施工アンカーが使用できない部分については、あと施工アンカーが不要となる「奥村式増打ち壁耐震補強工法」を採用した。 | | | | | | | | | |
| 10 | 10-006 | 2017年度 | 奥村組 | 株式会社奥村組 高樹寮 | 株式会社奥村組 高樹寮 | ○ | 外付け制振フレームによる耐震改修 | (株)奥村組 | (株)奥村組 | | | | (株)奥村組 | | 東京都 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 極めて稀な地震動に対し、最大層間変形角1/150以下 | 1964 | 2016 | 高耐震性能、デザイン性向上、資産価値向上、BCP（事業継続性）向上 | 旧耐震基準建物に対して、耐震壁の増設・増打ちと外付けフレーム設置による補強を行い、現行耐震基準の1.25倍相当の耐震性能を確保した。建物形状と耐震壁の偏在によって地震時に生じるねじれ変形に対し、外付けフレームに制振ダンパーを組込むことで高いねじれ抑制性能を付与して目標とする耐震性能を満足した。 | | | | | | | | |
| 10 | 10-007 | 2021年度 | 奥村組 | 青森県庁舎 南棟、東棟、議会棟 | 青森県庁舎 南棟、東棟、議会棟 | ○ | FM導入による県有施設活用取組と施設使用しながらの減築による耐震改修 | 青森県 | (株)日建設計 | | | | (株)奥村組 | (株)鹿内組 | (株)盛興業社 | 青森県 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 極稀地震時の層間変形角1/150以下、II類相当の耐震性を確保 | 1960 | 2018 | 施設を使用しながらの補強、低騒音・低粉塵の施工、デザイン性向上、BCP（事業継続性）向上 | 青森県のFM（ファミリーマネジメント）導入の下に計画された県有施設の改修工事である。改修後40年以上の建物使用を想定し、耐震性能確保のために減築とRC壁の増設・増厚、鉄骨フレームによる補強を行うと共に、「機能性、快適性、省エネルギー性、安全性」を最新水準に更新する工事を、建物を使用しながら行った。 | | | | | | | |
| 12 | 12-001 | 2012年度 | 鹿島建設 | 葛飾区総合庁舎本館 | 葛飾区総合庁舎本館 | ○ | 建物群の連結補強による居ながら耐震改修 | 葛飾区 | (株)小堀二研究所 | | | | 鹿島建設(株) | | 東京都 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 時刻応答解析で層間変形角1/100以内 | 1962 | 2000 | 供用しながらの改修、高耐震性能、BCP向上 | エキスパンションジョイントを介した建物群の耐震補強に当たり、「耐力向上」と「減衰付加」を意図した弾塑性ダンパー（ハニカムダンパー）組込の耐震補強構面の配置で補強構面数を低減させると共に、各棟を「コ」字型形状に剛結一体化して補強構面の配置計画の自由度を向上させて建物外周部に補強構面を集約配置させることで、建築計画の制約を極力回避した改修構法である。加えて、工事計画で平日工事と土日工事を組わせて「居ながら」改修工事を実現している。 | | | | | | | |
| 12 | 12-002 | 2012年度 | 鹿島建設 | 中村学園大学・中村学園大学短期大学部音・体育館 | 中村学園大学・中村学園大学短期大学部音・体育館 | ○ | CFT-SS(Simple strong)構法による耐震補強 | 学校法人中村学園 | 鹿島建設(株) | | | | 鹿島建設(株) | | 福岡県 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Is>Iso | 1981 | 2011 | CFTブレース、コスト削減、施工環境向上 | 高軸力を支持するCFTの特徴を生かし引張を負担しないディテールとすることにより、コストを大幅に削減すると共に騒音やはつり、アンカー打設が減るため、施工環境の向上が図れた。 | | | | | | | | |
| 12 | 12-003 | 2012年度 | 鹿島建設 | 天妙国寺 本堂 | 天妙国寺 本堂 | ○ | 木造伝統建物の鉄骨柱による居ながらの補強 | 願本法華宗天妙国寺 | 鹿島建設(株) | | | | 鹿島建設(株) | | 東京都 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 補強で耐力は約5倍に向上、応答最大変形角1/33（極稀） | 不明 | 2010 | 高耐震性能、短工期施工、ローコスト施工、供用しながらの補強 | 既存の木造のお寺（本堂）を使いながら、短期間で耐震補強を行うものである。経年により、柱梁等に歪みが見られるようになってきたことから、大地震時の倒壊防止を目的に耐震補強を行った。本補強法は建物の両側に鋼管杭を打ち込み、その上に杭と同径の柱を建て、お寺と一体とすることで耐震性能を向上させた補強法である。建物外部での工事のため、「居ながら施工」が可能で、補強部分がお寺の外観とも馴染んでおり、意匠性を損なわない工法といえる。 | | | | | | | |

| 会社番号 コード | シート 番号 | 作成 | 会社名 | 建物名称 (正式) | 建物名称 (検索用) | 種別 | 概要 | 発注者 | 改修設計者 | 改修施工者 | 都道府県 | 建物用途 (12択・複数) | 規模 | 改修方法 (9択・複数) | 改修効果 | 竣工年 | 改修竣工年 | 耐震改修の特徴 | 要約 |
|-------------|-----------|--------|------|-------------------------------|------------------------|----|--|-------------------|---------|-------------|------|------------------|----|-----------------|---------------------------------|------|-------|--|--|
| 12 | 12-004 | 2013年度 | 鹿島建設 | 八雲学園中学校・高等学校校舎 (①東校舎、②中央・西校舎) | 八雲学園中学校・高等学校校舎 | ○ | キャンパスの全面的な再生・これからの50年に使い続けるために | (学)八雲学園 | 鹿島建設(株) | 鹿島建設(株) | 東京都 | ○ | 4 | ○ | Is (補強後) ≥0.7 | 1958 | 2010 | 短工期 デザイン性向上 資産価値向上 助成金適用 増改築併用 | 本事例では、耐震補強提案を契機に、都市部に位置する私立中学・高等学校のキャンパス(校舎群)の全面的な再生を実現している。改修計画では、スマート耐震補強・リニューアルによる機能向上とイメージの刷新・メディアセンター新設による学園の新たな顔づくりなどを具現化した。さらに工事実施にあたっては、学園生活と共存するための「夏休みを中心とした短期間での分割施工」を実現し、学園から高い評価をいただいた。 |
| 12 | 12-005 | 2013年度 | 鹿島建設 | 日本大学法学部三崎町校舎本館 | 日本大学法学部三崎町校舎本館 | ○ | 基礎補強を併せた地下1階柱頭免震による都心大学校舎の“居ながら”免震改修 | (学)日本大学 | 鹿島建設(株) | 鹿島建設(株) | 東京都 | ○ | 9 | 1 | レベル2地震時弾性耐力以内(上部・下部構造) | 1968 | 2013 | 高耐震性能、居ながら改修、基礎補強、住宅・建築物耐震改修モデル事業、助成金適用 | 市街地に立地する校舎を、免震建物に改修することにより、大地震時に教職員・学生の安全を図ることに加えて、地域住民・帰宅困難者の避難場所として提供することができた。一方、地下1階の柱頭免震を採用することにより、基礎補強も含めて工事範囲を地下階に集中できたため、授業・研究活動を継続しながらの「居ながら」施工が可能となった。 |
| 12 | 12-006 | 2014年度 | 鹿島建設 | 銀座グランドホテル | 銀座グランドホテル | ○ | 室内の使い勝手に全く影響のない、ホテルの営業を継続しながら外付け耐震補強 | 室町建物(株) | 鹿島建設(株) | 鹿島建設(株) | 東京都 | ○ | 12 | 1 | 時刻歴応答解析で層間変形確認 | 1978 | 2014 | 営業を継続しながらの改修、外付耐震、外壁脱落防止、緊急輸送道路沿道の安全確保 | 繁華街に立地し、緊急輸送道路沿道建物でもあるシティホテルの耐震改修を、営業を継続しながら実施するため、客室に影響の無い中庭部分からの外付耐震補強を採用。2種類の耐震デバイスを効果的に組み合わせ建屋応答を低減すると共に変形追従性に乏しいカーテンウォールの脱落防止策も実施、総合的な耐震安全性を図った。厳しい施工条件の中、屋上にタワークレーンを設置するなど綿密な施工計画により無事故で工期内の竣工を実現。 |
| 12 | 12-007 | 2014年度 | 鹿島建設 | 清泉女学院中学高等学校 南棟 | 清泉女学院中学高等学校 南棟 | ○ | 既存基礎上に設置した免震装置による校舎の「居ながら」免震改修 | (学)清泉女学院 | 鹿島建設(株) | (株)フォルムデザイン | 神奈川県 | ○ | 5 | 0 | 極めて稀に発生する地震動に対して 応答層間変形角 ≤1/200 | 1963 | 2011 | 供用しながらの改修、高耐震性能、助成金適用 | 関係者の愛着の深い校舎の外観を損なうことなく、耐震性能を向上させるために免震改修を行った。装置高さの小さい免震装置(曲面滑り支承)を最下階下部の既存基礎上に設置することで、大掛かりな地下工事をすることなしに、上階を使用しながら建物全層を免震化した。 |
| 12 | 12-008 | 2015年度 | 鹿島建設 | 新宿三井ビルディング | 新宿三井ビルディング | ○ | 既存超高層ビルの長周期地震に対する | 三井不動産(株) | 鹿島建設(株) | 鹿島建設(株) | 東京都 | ○ | 55 | 3 | 長周期・長時間地震の揺れを半減 | 1974 | 2015 | 供用しながらの補強、高耐震性能、長周期地震動対策、資産価値向上、BCP(事業継続性)向上 | 1974年に竣工した55階建ての超高層建物の安心感および耐震性能の向上を目的として、屋上設置TMDによる耐震改修を行った。1ユニット当たりの錘の重量300ton、錘の最大振幅約2mの2方向対応のTMDを新規開発しており、シミュレーション解析および実大試験体による実験によって、想定通りの性能を発揮することを確認している。 |
| 12 | 12-009 | 2015年度 | 鹿島建設 | サントリーホール | サントリーホール | ○ | 工期中も公演を休むことなく、複雑な形状の大ホール天井の耐震性を向上 | サントリーホールディングス | 鹿島建設(株) | 鹿島建設(株) | 東京都 | ○ | 2 | 4 | 耐震天井告示に適合した耐震天井 | 1986 | 2014 | 供用しながらの補強、高耐震性能、資産価値向上、BCP(事業継続性)向上 | 稼働率が高い国内有数の大ホール特定天井の耐震改修工事を、公演を中止することなく天井裏のスペースのみで実施した。設計段階では明快になっていなかった特定天井の告示内容を設計・施工が一体となって竣工時点で満たし、全国のホールに先駆けて特定天井大臣認定第一号を取得した。 |
| 12 | 12-010 | 2015年度 | 鹿島建設 | 西葛西ハイムA棟・B棟・C棟・D棟 | 西葛西ハイムA棟・B棟・C棟・D棟 | ○ | 7年かけ実現した分譲マンションの耐震改修 | 管理組合法人西葛西ハイム | 鹿島建設(株) | 鹿島建設(株) | 東京都 | ○ | 12 | 0 | Is>Iso=0.60 | 1979 | 2014 | 供用しながらの補強、助成金適用、資産価値向上 | 本物件は、管理組合の耐震改修への強い思いと段階的な合意形成、耐震化を後押しする公的助成、適材適所の耐震補強工法の採用により実現した分譲マンションの耐震化の好例である。外付け鉄筋コンクリートフレーム補強工法などの適用と、綿密な施工計画の検討・実施により、居ながらで工事を進め必要な耐震性を確保している。 |
| 12 | 12-011 | 2015年度 | 鹿島建設 | 小津本館ビル | 小津本館ビル | ○ | 都心部の緊急輸送道路沿道に建つ事務所ビルの居ながら1階柱頭免震改修 | (株)小津商店 | 鹿島建設(株) | 鹿島建設(株) | 東京都 | ○ | 11 | 2 | 免震層変形33.4cm ≤45cm (レベル2) | 1971 | 2015 | 供用しながらの補強、資産価値向上、助成金適用、緊急輸送道路沿道の安全確保 | 本物件は、建物所有者の耐震改修への強い思いと、耐震化を後押しする公的助成、1階柱頭免震工法の採用により実現した緊急輸送道路沿道建築物の耐震化の好例である。1階および上下階での集中的な補強により、基準階での補強をなくすと共に、居ながらで建築・構造・設備の免震化工事を進め必要な耐震性を確保している。 |
| 12 | 12-012 | 2016年度 | 鹿島建設 | 中国新聞文化事業社ビル(広島三越) | 中国新聞文化事業社ビル(広島三越) | ○ | 百貨店として営業しながら前提とする耐震改修 | (株)中国新聞文化事業社 | 鹿島建設(株) | 鹿島建設(株) | 広島県 | ○ | 8 | 2 | Is>Iso | 1973 | 2015 | 供用しながらの改修、短工期施工、施工の安全性の向上、資産価値向上、助成金適用 | 地域の中核百貨店として、営業しながらを前提とした耐震改修計画が求められた。補強計画に際し、店舗営業への影響を最小限に抑えるため、現場施工が容易な部材・工法、補強部材配置は主にバックヤード側、等を踏まえ、補強工法として、①耐震間柱設置、②耐震スリット設置を採用した。なお、塔屋(RC造)は壁増し打ち補強とした。 |
| 12 | 12-013 | 2016年度 | 鹿島建設 | 小田原市庁舎 | 小田原市庁舎 | ○ | 基礎ピットを利用した居ながら免震レトロフィット | 小田原市 | 鹿島建設(株) | (株)安池建設工業 | 神奈川県 | ○ | 7 | 0 | レベル2地震時で上部構造の層せん断力が弾性耐力以内 | 1976 | 2016 | 供用しながらの補強、既存ピット利用、長周期地震動対策、資産価値向上、BCP(事業継続性)向上 | 小田原市による公募型の耐震改修事業プロポーザルで唯一の免震改修提案であった本計画は、既存ピット内に免震装置を組み込む「基礎ピット内免震化工法」を採用している。これにより耐震補強範囲を基礎部分に限定し、建物の機能、外観および工事期間中の利便性を確保しつつ、工期・コスト面でも優れた費用対効果をもたらすことができた。 |
| 12 | 12-014 | 2017年度 | 鹿島建設 | 立川曙町8953ビル | 立川曙町8954ビル | ○ | 既存建物の価値向上を実現させた総合的リニューアル | 三菱UFJ信託銀行(株) | 鹿島建設(株) | 鹿島建設(株) | 東京都 | ○ | 8 | 2 | Is>Iso=0.60 | 1970 | 2016 | 店舗部分への影響を最小限にした「居ながら」施工、デザイン性向上、資産価値向上、立川市助成制度活用 | 本工事は築45年、商業ビル(竣工時百貨店)の改修工事で、テナント営業を継続しながら工事を実施した。店舗営業への影響を最小限とする配置とした壁増設、鉄骨ブレース等の設置により、強度、靱性を向上させると共に、耐震補強工事と同時施工によりメリットのある内外装、設備更新工事も併せて実施し、建物価値の向上を図った。また立川市緊急輸送道路沿道建築物のため、耐震化促進事業助成制度を活用した。 |
| 12 | 12-015 | 2017年度 | 鹿島建設 | 共立講堂 | 共立講堂 | ○ | 屋根の軽量化による耐震性向上、三次元曲面天井の耐震化 | (学)共立女子学園 | 鹿島建設(株) | 鹿島建設(株) | 東京都 | ○ | 4 | 1 | Is>Iso=0.70 屋根・天井は水平1G | 1938 | 2017 | 屋根軽量化、特定天井対応、三次元曲面天井、仮設屋根 | 築79年の大型講堂(2,000席規模から1,800席弱に改修)で、千代田区景観まちづくり重要物件に指定されている。既存の構造設計者は内藤多伸である。2000年に壁増設などにて強度型の耐震補強を施し、2017年に軽量化・ぶどう棚化等により屋根架構および特定天井規模の大型天井の耐震化(文部科学省の助成制度利用)を完了した。 |
| 12 | 12-016 | 2018年度 | 鹿島建設 | 鎌倉学園中学校・高等学校 | 鎌倉学園中学校・高等学校 | ○ | 仮設校舎を利用した年度ごとの「居ながら耐震改修」 | 学校法人鎌倉学園 | 鹿島建設(株) | 鹿島建設(株) | 神奈川県 | ○ | 4 | 1 | Is ≥0.7 | 1967 | 2017 | 供用しながらの補強 デザイン性向上 資産価値向上 増改築併用 | 新築を目指したりリニューアル。施工に際して、中央棟、東棟、西棟の順に年度ごとに分け、プレハブ仮設校舎との間で入れ替えを行いながら3年をかけて「居ながら」で改修を進めた。 |
| 12 | 12-017 | 2018年度 | 鹿島建設 | 明治学園 クラブハウス 中学男子棟・高校A棟 | 明治学園 クラブハウス 中学男子棟・高校A棟 | ○ | 伝説ある既存ファサードを尊重したCFT-SS(Simple Strong)構法による耐震補強 | 学校法人カシオニード・ノートルダム | 鹿島建設(株) | 鹿島建設(株) | 福岡県 | ○ | 5 | 1 | Is>Iso | 1957 | 2017 | CFT プレース、デザイン性向上、コスト削減、施工環境向上 | 高軸力を支持可能なCFTの特徴を生かし引張力を負担しないディテールとするため、端部は一端を丸鋼として離間可能とし、他端を異型鉄筋として付着を考慮することにより、枠フレームを無くし、コストを大幅に削減することにより、枠フレーム、アンカー打設が減るため、施工環境の向上が図れる。K形ブレースに比べ鉄骨製部品数も大幅に削減されたことから設計・工事における監理項目も低減することができた。 |

| 会社番号 コード | シート 番号 | 作成 | 会社名 | 建物名称（正式） | 建物名称（検索用） | 種別 | 概要 | 発注者 | 改修設計者 | | | 改修施工者 | | | 都道府 県 | 建物用途 (12択・複数) | | | | | | | | | | | | 規模 | 改修方法 (9択・複数) | | | | | | | | | 改修効果 | 竣工年 | 改修竣 工年 | 耐震改修の特徴 | 要約 | | |
|-------------|-----------|----------------------|------|---|---|----|---|--------------------------------|---------------------------------|-------------|----------------------------------|-------------|----------------------------------|-------------------|-------------------------|------------------|--|--|--|--|---|--|--|--|--|--|--|----|-----------------|--|--|--|--|--|---|--------|--------|------|------|-----------|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20 | 20-007 | 2018年度 | 清水建設 | ホテルニューグランド 本館 | ホテルニューグランド 本館 | ○ | 『受け継ぐ先 人の思い。歴 史の美学』 ～50年100年先 を見据えた施 設づくり～ | (株)ホテ ル、 ニュー グ ランド | 清水建 設(株) | | | 清水建 設(株) | | | | 神奈 川 県 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Is>Iso | | | | 1927 | 2016 | 供用しながらの改修、 歴史的建築物、BCP向 上、緊急輸送道路沿線 の安全確保、天井耐震 補強、助成金適用 | 渡邊 仁の設計により昭和2年に竣工した、歴史的建造物に 指定されているホテルの耐震改修である。今後 50 年 100 年を現役のホテルとして稼働させるため、歴史的建造物の 価値の保存・継承を図りつつ、非構造部材（左官仕上天井 や木造仕上げ天井）と躯体を含めた建物の耐震化により、 災害時における来館者の安全と事業継続の確保を実現し た。 |
| 20 | 20-008 | 2024年度 New | 清水建設 | 学校法人聖路加国際大 学 聖ルカ礼拝堂保存 改修 | 聖路加国際大学聖ル カ礼拝堂 | ○ | 歴史的建造物 の保全と安全 性の確保 | (学) 聖 路加国際 大学 | 清水建 設(株) | | | 清水建 設(株) | | | | 東京 都 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 落下防止 | | | | 1936 | 2023 | 安全性の確保、点検測 量による三次元天井形 状の再現、音響性能の 確保 | 歴史的建造物である当礼拝堂は、天井・壁の内装材として 防火石が用いられた荘厳な造りとなっているが、大地震時に 天井の防火石の落下が懸念された。安全性を第一に考え、 原設計のリブヴォールト形状をそのままボードに置き換え た。また、部分的に現状の防火石の天井を残すために落下 防止ネットを設け歴史的建造物の保全と共に安全性の確保 を図った。その他ステンドグラスの改修・落下防止用サッ シュ・ネット設置も行っている。 | |
| 22 | 22-002 | 2012年度 | 錢高組 | 大阪第2 地方合同庁舎 | 大阪第2 地方合同庁舎 | ○ | 庁舎機能を維 持しながらの 免震改修工事 | 国土交通 省近畿地 方整備局 | (株)松 田平田 設計 | | | (株)錢 高組 | | | | 大阪 府 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Is>Iso | | | | 1968 | 2009 | 供用しながらの改修、 高耐震性能、低騒音・ 低粉塵の施工 | 昭和43年に建設された地方合同庁舎で、各省庁の出先機関 の官署が入居している。これらの官署が業務を行っている 中で免震改修工事であったため、施工時の鉛直変位をミ リ単位で制御しながら、さらに騒音・振動を極力抑えなが らの難しい工事であったが無事に竣工し、高い耐震性能の ある建物に生まれ変わった。 | |
| 22 | 22-003 | 2012年度 | 錢高組 | 神戸大学（六甲台2） 総合研究棟（農学系） 改修施設整備事業 | 神戸大学（六甲台2） 総合研究棟（農学系） | ○ | PFIによる大学 施設の耐震改 修事業 | 国立大学 法人神戸 大学 | (株)松 田平田 設計 | | | (株)錢 高組 | | | | 兵庫 県 | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | Is>Iso | | | | 1967 | 2007 | 供用しながらの改修、 PFI、資産価値向上 | 本物件では、施設の整備（設計、改修）及び維持管理業 務、並びに運営事業を、施工者の共同出資によって設立さ れた特定目的会社がPFI事業者として14年間の契約で実施 している。耐震補強としては、約40年前に建てられた大学建 物を使用しながら、外部に鉄筋コンクリートのアウトフ レーンを用い、その他一部で柱、壁の増し打ちを行った。 | |
| 22 | 22-004 | 2014年度 | 錢高組 | 大分医療センター病棟 等減築工事 | 大分医療センター病棟 等減築工事 | ○ | 減築による病 棟建物の耐震 性能向上 | (独法) 大分医療 センター | (株)九 電設計 | | | (株)錢 高組 | | | | 大分 県 | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | Is>Iso | | | | 1977 | 2011 | 減築工事、供用しな がらの上層階の解体 | 本物件は、旧基準により設計された6階建て病棟について、 1、2階を使用しながら上層階のみを解体し、建物規模を縮 小（減築）した工事である。これにより、存置建物の耐震 性能は大きく向上した。使用階直上をカッター工法により 解体作業を行ったが、病院関係者からの苦情なく、ほぼ無 振動・無騒音にて工事を完了する事が出来た。 | |
| 23 | 23-001 | 2012年度 | 大成建設 | 新宿センタービル | 新宿センタービル | ○ | 世界初となる 既存超高層建 物の長周期地 震動対策 | 新宿セン タービル 管理(株) | 大成建 設(株) | | | 大成建 設(株) | | | | 東京 都 | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | 最大変位22% 最大加速度29% 後揺れ時間51% 低減 | | | | 1979 | 2009 | 共用しながらの改修、 地震動対策、資産 価値向上、BCP向上 | 安全性だけでなく、修復性や事業継続性を考慮し、長周期 地震動対策を行ったものである。改修は、最大変形や後揺 れを低減することを目的とし、制震ダンパーを建物外周部 に288台設置した。また、火災等の安全性を考慮し、現場溶 接を使用しないPC鋼構による圧着工法により、制震ダン パーを取付けた。東北地方太平洋沖地震では、制震効果 により、大きな地震被害の発生はなく、業務継続に支障は 生じなかった。 | | |
| 23 | 23-002 | 2012年度 | 大成建設 | 霞が関コモンゲート・ 中央合同庁舎第7号館 官庁棟保存部分工事 (旧文部省庁舎) | 霞が関コモンゲート・ 中央合同庁舎第7号館 における官庁棟保存部 分（旧文部省庁舎） | ○ | 官庁施設とし ての高い性能 と歴史的価値 を付加した耐 震補強 | 霞が関7 号館PFI (株) | (株)久 米設計 | 大成建 設(株) | 新日鉄 住金エ ンジン アリン グ(株) | 大成建 設(株) | 新日鉄 住金エ ンジン アリン グ(株) | 日本電 設工業 (株) | 三菱重 工パ ンキ ン(株) | 東京 都 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 建築基準法への適合等 匠性に配慮 | | | | 1933 | 2007 | 保存建物、高耐震性 能、基礎補強、躯体補 修、保存復元、部材補 強実験、低騒音・低粉 塵工法、デザイン性向 上 | 旧文部省庁舎は、中央官庁施設に要求される高い耐震性能 の「分類1」を確保する耐震補強を行い、最新のオフィス 機能を備えた庁舎として全面改修された。既存部材の切 出し実験や、既存基礎下の地盤改良による補強を行って いる。また、昭和8年(1933年)の創建で、中央官庁街では赤 レンガの法務省について古く、昭和初期の面影を残す歴史 的・文化的価値により2007年10月には国の登録有形文化財 に指定された。 | | |
| 23 | 23-003 | 2012年度 | 大成建設 | 四国銀行本店耐震改修 工事 (当社設計施工) | 四国銀行本店 | ○ | 安全・安心を 表現する新し い耐震補強 | (株)四国 銀行 | 大成建 設(株) | | | 大成建 設(株) | | | | 高知 県 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 必要な耐震性能指標Is0の 1.25倍を確保 | | | | 1963 | 2007 | 南海地震に備えた総合 対策、事業継続性の強 化、顧客や行員の生命 を守る | 築40年を超える銀行本店の耐震改修である。来るべき南海 地震に備えた総合安全対策の一環として実施された。は りまやばし交差点に面する正面部分への耐震補強となるた め、街のシンボルとしての「イメージの継承」と安全性を 備えた「斬新なイメージ」を両立するデザインが求められ た。その他、建物周囲の街路空間での災害安全確保のため に、外装カーテンウォールの耐震改修なども実施した。 | | |
| 23 | 23-004 | 2012年度 | 大成建設 | 鳥取県庁舎 | 鳥取県庁舎 | ○ | 継続使用しな がら免震化 し、災害時の 防災拠点とな る耐震性能を 付与 | 鳥取県 | 大成建 設(株) | 桂設計 事務所 | | 大成建 設(株) | 大和建 設 | | | 鳥取 県 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 時刻歴応答解析の結果、 変形や入力加速度等に おいて大きな低減効果が 確認された | | | | 1962 | 2011 | 供用しながらの補強、 高耐震性能、デザイ ン性向上、資産価値向 上、BCP向上、地域防 災拠点 | 本物件は、昭和37年竣工の本庁舎、講堂・議会棟および昭 和56年竣工の議会棟別館の耐震改修工事である。この字形 に一体となっていた本庁舎と講堂・議会棟を構造的に分離 し、整形とした本庁舎については基礎下部に免震層を構築 する免震改修、講堂・議会棟、議会棟別館については、主 に建物外部からの耐震補強を行う耐震性を向上した。基 礎下部の免震補強及び外部補強により、行政機能を途切れ させることなく施工を行いつつ、地震に強い庁舎へと再生 した。 | | |
| 23 | 23-005 | 2012年度 | 大成建設 | 重要文化財 自由学園 明日館 | 自由学園明日館 | ○ | 使いながら文 化財価値を保 存する耐震改 修(動態保存) | 学校法人 自由学園 | (公 財) 文 化財建 造物保 存協会 | | | 大成建 設(株) | | | | 東京 都 | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | 現行の建築基準法・同施行 令の定めた壁量を満たし た | | | | 1922 | 2001 | 動態保存、耐久性向 上、復元・修理、設備 の充実 | 旧帝国ホテル設計者として著名なフランク・ロイド・ライ トとその弟子達藤新により建てられたものである。1997年 に重要文化財の指定を受けた本建物は、「使いながら保存 する」ことが実践されている。耐震改修は、原設計の考え 方を尊重し架構の基本的な考え方は残しつつ、建物の安全 性を確保することを目的としている。 | | |
| 23 | 23-006 | 2012年度 | 大成建設 | JPタワー | JPタワー | ○ | 地下1階の基 礎免震レトロ フィット工事 | 日本郵便 (株) | (株)三 菱地所 設計 | | | 大成建 設(株) | | | | 東京 都 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1931 | 2012 | 高耐震性能、資産価値 向上 | 本物件は、昭和6年に建造された昭和モダニズム建築代表 作である旧東京中央郵便局を建替えるにより高層建物に建設 するにあたり、老朽化した既存建物の地上階の一部を保存 するため地下1階の新設柱頭に免震装置を設置し地上建物の 免震化により建物保存をおこなった。 | | |
| 23 | 23-007 | 2014年度 | 大成建設 | 荒川区本庁舎 | 荒川区本庁舎 | ○ | 庁舎を使いな がら免震改修 | 荒川区 | 大成建 設(株) | | | 大成建 設(株) | | | | 東京 都 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 免震化により、防災機 能を維持できる建物改修 | | | | 1968 | 2011 | 供用しながらの補強、 施工中の安全確保 | 本庁舎は災害時における防災拠点として重要な施設である とともに、利用する人たちの安全確保の観点から耐震改修 が求められた。免震改修法の採用により、建物と併用し ながらの改修と高い耐震性の確保を同時に実現した。 | | |
| 23 | 23-008 | 2014年度 | 大成建設 | 千葉県農業会館 本館 棟 | 千葉県農業会館 本館 棟 | ○ | 既存建物のデ ザインと調和 した魅せる耐 震改修の実現 | (一財) 千葉県農 業会館 | 大成建 設(株) | | | 大成建 設(株) | | | | 千葉 県 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Is値0.6以上を確保し、安 全性を高めた | | | | 1967 | 2012 | 供用しながらの補強、 低騒音・低振動の施 工、外部フレーム補 強、ガラスを用いた補 強、魅せる補強 | 千葉県農業会館本館棟は鉄筋コンクリート造6階建ての事 務ビルである。外部庇により水平ラインが強調された美 しい外観と明るく開放的な内部空間が特徴的な建物であっ た。耐震改修を行うにあたり、既存の外観イメージを損な わない『魅せる耐震改修』を実現するため、2つの新しい 改修技術「グリッドフレーム」と「T-G Wall」を採用し た。 | | |

| 会社番号コード | シート番号 | 作成 | 会社名 | 建物名称 (正式) | 建物名称 (検査用) | 種別 | 概要 | 発注者 | 改修設計者 | 改修施工者 | 都道府県 | 建物用途 (12択・複数) | 規模 | 改修方法 (9択・複数) | 改修効果 | 竣工年 | 改修竣工年 | 耐震改修の特徴 | 要約 | |
|---------|--------|--------|------|----------------|------------|----|--------------------------------------|--------------|------------|---------|------|------------------|------|-----------------|------|------|-------|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ |
| 29 | 29-003 | 2012年度 | 東急建設 | 東急百貨店本店 | 東急百貨店本店 | ○ | 施工中も完成後も店舗営業に支障を来さない耐震改修 | (株)東急百貨店 | 東急建設(株) S2 | 東急建設(株) | 東京都 | ○ | 9 3 | ○ | ○ | 1970 | 2010 | 供用しながらの改修、高耐震性能、資産価値向上、低騒音・低粉塵の施工、長周期地震対策 | 東急グループの保有する旧耐震建物の耐震性向上を図る事業の一環として実施された例であり、不特定のお客様が利用する百貨店において耐震改修を行ったものである。耐震改修の採用により営業(売場)面積は改修前と同等の確保を実現しており、竣工後発生した東日本大震災における性能検証においても高耐震性能が確保されていることが実証された。 | |
| 29 | 29-004 | 2014年度 | 東急建設 | 金玉八幡宮神楽殿 | 金玉八幡宮神楽殿 | ○ | 現存のまま将来へ残す木造神楽殿の耐震改修 | 金玉八幡宮 | (株)魚津社寺工務店 | 東急建設(株) | 東京都 | ○ | 1 1 | ○ | ○ | 1926 | 2014 | 施工の安全性向上、高耐震性能、建物保全 | 本物件は、大正15年に建てられた木造の神楽殿である。築約90年の本建物は、経年による劣化や東北地方太平洋沖地震等の影響により、地盤沈下による基礎の沈下や既存大谷石の風化が見受けられた。本改修工事は、今後発生が予想される巨大地震にも対応し、将来の文化財としての価値を損なわぬよう現存の意匠や風合いを最大限に生かす耐震改修を実現した。 | |
| 29 | 29-005 | 2015年度 | 東急建設 | 京都東急ホテル | 京都東急ホテル | ○ | あと施工アンカーの本数を削減可能な工法を採用し、営業しながらの施工を実現 | 三井住友信託銀行(株) | (株)イリア | 東急建設(株) | 京都府 | ○ | 7 2 | ○ | ○ | 1982 | 2015 | ホテルを営業しながらの改修 省スペース化施工 | 既存躯体へのアンカー工事を削減し、また無振動ドリルを採用することにより、施工を完了した。 | |
| 29 | 29-006 | 2018年度 | 東急建設 | 日本橋税務署 | 日本橋税務署 | ○ | 免震レトロフィット構法と環境負荷低減への大規模改修工事 | 国土交通省関東地方整備局 | 柳安井建築設計事務所 | 東急建設(株) | 東京都 | ○ | 8 1 | ○ | ○ | 1972 | 2017 | 最大層間変形角1/200以下 層型率 1.5以下 | 既存躯体を残し構造体補強の耐震改修、1階柱頭の中間階免震、外壁・内装・設備改修の大規模改修 | 解体工事を含めた外壁の軽量化と、柱及び2階梁補強等の必要な躯体強度の確保とともに、1階柱頭に免震装置を設置し地震力を大幅に低減する免震レトロフィット構法を採用し設備改修も含めた特殊な大規模改修工事である。 |
| 30 | 30-003 | 2012年度 | 東鉄工業 | TK第一ビル | TK第一ビル | ○ | 中層SRCビルでの耐震による耐震補強 | 東鉄工業(株) | 東鉄工業(株) | 東鉄工業(株) | 東京都 | ○ | 7 1 | ○ | ○ | 1974 | 2005 | 施工の安全性、高耐震性能、デザイン性向上、資産価値向上 | 自社ビルにリニューアル工事と耐震補強を行い、テナントビルとして改修した例であり、耐震補強に耐震装置を採用し建物外観と内部からの景観に対して配慮した建物となっている。 | |
| 32 | 32-001 | 2012年度 | 戸田建設 | 徳海屋ビル免震レトロフィット | 徳海屋ビル | ○ | 大震災で実証済：狭い敷地でも可能な「20cm免震レトロフィット」の威力 | (株)徳海屋 | 戸田建設(株) | 戸田建設(株) | 東京都 | ○ | 11 1 | ○ | ○ | 1975 | 2011 | 告示波の入力地震動に対し弾性限耐力以下、層間変型角1/200以下 | 大地震時の水平クリアランス20cm以下、供用しながらの施工、建物のデザインを損なわない、地下階(用途、事務室、駐車場)の柱頭免震 | 外壁と隣地境界までの距離が約20cmなどの条件下で免震化を実現した「都市型免震レトロフィット」の好事例である。 |
| 32 | 32-002 | 2012年度 | 戸田建設 | 埼玉県庁舎ほか耐震補強工事 | 埼玉県庁舎、第二庁舎 | ○ | 埼玉県庁舎を居たまま大規模耐震改修工事 | 埼玉県 | 戸田建設(株) | 戸田建設(株) | 埼玉県 | ○ | 10 2 | ○ | ○ | 1974 | 2011 | Is>Iso | 居たままの補強、ローコスト施工、低騒音・低粉塵施工、デザイン性向上、BCP(事業継続性)向上、増改築併用 | 埼玉県庁舎を居たままで行なった大規模耐震改修工事であり、本庁舎と第二庁舎を同時に施工したものである。建物外周部を補強する工法を採用することや、低騒音・低振動・小粉塵施工が可能な鋼管コッター工法を採用することにより、高い耐震性を実現できた工事である。 |
| 32 | 32-003 | 2012年度 | 戸田建設 | 愛知県庁舎 | 愛知県庁舎 | ○ | 国内最大級の基礎免震構造によるレトロフィット耐震改修 | 愛知県 | (株)日建設計 | 戸田建設(株) | 愛知県 | ○ | 6 1 | ○ | ○ | 1938 | 2009 | 部材：短期許容応力度以内で層間変形角1/1000以下 固有周期：3.9秒以上 | 供用しながらの耐震改修、施工の安全性向上、高耐震性能、長周期地震動対策 | 愛知県の防災拠点となる愛知県庁舎関係者の改修に対する強い意思と設計者・施工者のサポートが実現して免震改修を適用できた好例である。レトロフィット基礎免震工法の採用により、建物を使用しながらの改修と高い耐震性を同時に実現し、今後発生すると予測されている東海・東南海地震に備えることができた事例である。 |
| 32 | 32-004 | 2014年度 | 戸田建設 | 弁天プラザビル | 弁天プラザビル | ○ | 「鋼管コッター」+外部補強で全テナントが営業したまま補強 | 弁天町共同ビル(株) | 戸田建設(株) | 戸田建設(株) | 新潟県 | ○ | 13 1 | ○ | ○ | 1981 | 2009 | Is>Iso | 供用しながらの補強、短工期施工、低騒音・低粉塵の施工 | 鉄骨フレームやRC耐震壁の外部補強を中心とした補強に低騒音・低振動の接合工法である「鋼管コッター工法」を組み合わせて、全テナントが継続営業したまま、4ヶ月という短工期で補強工事を竣工。 |
| 32 | 32-005 | 2014年度 | 戸田建設 | JA熊本経済連本館 | JA熊本経済連本館 | ○ | 居たままアウトフレーム制震補強の実現 | JA熊本 | 戸田建設(株) | 戸田建設(株) | 熊本県 | ○ | 7 1 | ○ | ○ | 1979 | 2013 | Is>Iso 高層階での地震時の揺れ低減 | 供用しながらの補強、デザイン性向上、高耐震性向上、資産価値向上 | 内部補強を伴わないアウトフレーム制震補強を基本方針とし、補強架構直下に新設杭を配置しない条件を満足させ、建物全体の揺れを抑える架構計画・制振装置配置とした。 |
| 32 | 32-006 | 2014年度 | 戸田建設 | 裾野市本庁舎 | 裾野市本庁舎 | ○ | 免震改修+地下空洞充填を含めた一体の補強実施 | 裾野市 | 戸田建設(株) | 戸田建設(株) | 静岡県 | ○ | 5 1 | ○ | ○ | 1977 | 2012 | (告示波×1.50倍)の入力地震動に対して1/500 | 供用しながらの改修、低騒音・低粉塵の施工、BCP向上 | 本建物は、富士山の噴火の際に流れ出た強固な溶岩層の上に建設されているが、1975年の建設時に建物直下に地下空洞が発見され、補強用の杭も打設されているが、その地下空洞をエアミルク材で充填し、その後、地下1階柱頭部で免震レトロフィット改修を行い、基礎部分を含めた一体の補強を行った事例である。 |
| 32 | 32-007 | 2015年度 | 戸田建設 | ロッテ本社ビル | ロッテ本社ビル | ○ | 東京都特定緊急輸送道路沿道建築物の居ながら耐震・耐震改修 | ロッテ商事 | 戸田建設(株) | 戸田建設(株) | 東京都 | ○ | 12 1 | ○ | ○ | 1978 | 2014 | Is>Iso 高層階での地震時の揺れ低減 | 供用しながらの補強、低騒音・低粉塵の施工、短工期施工、助成金適用、緊急輸送道路沿線の安全確保 | 耐震性が不足している東京都の特定緊急輸送道路の沿道建築物について、耐震性の確保および構造計画上の問題であった大地震時の高層階での大きな揺れを低減させるため、座屈拘束型耐震・制振ブレースを併用して耐震改修を行った。耐震診断、補強設計、改修工事については特定沿道建築物に対する耐震化に対する助成制度の適用を受けて実施した。 |
| 32 | 32-008 | 2016年度 | 戸田建設 | さんむ医療センター中棟 | さんむ医療センター | ○ | 開院したまま耐震改修工事を実施 | (独)さんむ医療センター | 戸田建設(株) | 戸田建設(株) | 千葉県 | ○ | 3 0 | ○ | ○ | 1979 | 2011 | Is>Iso (=0.75) | 供用しながらの補強、低騒音・低粉塵の施工 | 開院したまま耐震改修工事ができるように外周部の耐震壁増設、既存壁架構不閉塞、鉄骨外部補強を中心とした耐震改修とした。接合には鋼管コッター工法を採用。補強部材に明るい色付けを行い、新装外壁のイメージとした。 |
| 32 | 32-009 | 2017年度 | 戸田建設 | TKホール | TKホール | ○ | ブレース・クリアランスの設置が困難な大ホールの特定期天井の落下防止措置 | 東京都 | 戸田建設(株) | 戸田建設(株) | 東京都 | ○ | 11 3 | ○ | ○ | 1996 | 2016 | 特定天井の落下防止措置 ワイヤー | 特定天井 落下防止措置 ワイヤー | 大ホールの天井耐震改修工事において、ブレース設置やクリアランス確保が難しいことから、新築時と同等の技術基準に適合させることが極めて困難なため、ワイヤーを用いた落下防止措置を講じた |
| 32 | 32-010 | 2020年度 | 戸田建設 | 朝霞市庁舎 | 朝霞市庁舎 | ○ | 相互に近接する建物群における免震レトロフィットを含めた耐震改修工事 | 朝霞市 | 戸田建設(株) | 戸田建設(株) | 埼玉県 | ○ | 5 1 | ○ | ○ | 1972 | 2017 | L2地震時 最大応答加速度199gal Is>Iso | 居たまま補強、狭小な条件下での免震レトロフィット補強、鋼管コッター工法の採用 | 朝霞市庁舎(本館と議場棟)は耐震診断で強度不足が指摘され、「朝霞市庁舎等整備方針検討委員会」で本館を免震、議場棟を耐震で補強する提言がなされた。本館は戸田式免震工法を適用し、長周期化により建物に加わる力を低減させ基礎部のみを改修する「居たまま補強」と大地震時における免震層の小振幅化に成功した。議場棟は鋼管コッター工法による鉄骨ブレース補強を行った。 |

| 会社 番号 コード | シート 番号 | 作成 | 会社名 | 建物名称 (正式) | 建物名称 (検索用) | 種別 | | 概要 | 発注者 | 改修設計者 | | | 改修施工者 | | | 都道府県 | 建物用途 (12択・複数) | | | | | | | | | | | | 規模 | 改修方法 (9択・複数) | | | | | | | | | | | | 改修効果 | 竣工年 | 改修竣工年 | 耐震改修の特徴 | 要約 |
|-----------------|-----------|--------|--------|-----------------------|-------------------|----|---|--|-------------------|--------------|--------------|--|-------|-----------|---------|----------|------------------|--|--|---|--|--|--|--|--|--|--|--|----|-----------------|--|--|--|----------|-----------|------------------------------------|--|---|--|--|--|------|-----|-------|---------|----|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 46 | 46-001 | 2012年度 | 前田建設工業 | 松阪市庁舎本館 | 松阪市庁舎本館 | | ○ | 庁舎機能を維持しながらの工事を可能にした鉄骨ブレース増設架橋による耐震改修 | 松阪市 | 前田建設工業(株) | (株)上村工建 | | | 前田建設工業(株) | (株)上村工建 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Is>Iso | 1969 | 2012 | 供用しながらの改修、高耐震性能、短工期施工、ローコスト施工、助成金適用、環境配慮 | 松阪市では旧耐震基準で設計された市庁舎を震災時における来庁舎や職員の安全確保、行政機能の保全、防災拠点としての庁舎機能の保持などの必要性を考慮し耐震補強を実施するに至った。耐震改修工事は設計・施工一括のプロポーザル方式にて発注され、建物内部の工事をほとんどなくし、工期と工事費を大幅に減らすことができた本案が採用された。 | | | | | | | |
| 46 | 46-002 | 2012年度 | 前田建設工業 | 三田松聖高等学校 | 三田松聖高等学校 | | ○ | 補強前と変わらぬパフォーマンスを発揮するMaSTER FRAME構法 | (学) 漆川相野学園 | 前田建設工業(株) | | | | 前田建設工業(株) | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | Is>0.7 | 1979 | 2010 | 供用しながらの改修、高耐震性能、短工期施工、低騒音・低粉塵の施工、ローコスト施工、助成金適用 | 本建物では、建物の外側を鉄筋コンクリートフレーム(MaSTER FRAME構法)で補強することにより、所定の耐震性能を確保するとともに採光や眺望に影響を及ぼさず、補強前と変わらぬパフォーマンスを発揮。さらにMaSTER FRAME構法をプレキャスト化することにより短期間施工を実現している。 | | | | | | | | |
| 46 | 46-003 | 2018年度 | 前田建設工業 | 大三新日本橋ビル | 大三新日本橋ビル | | ○ | 建物の使用性に配慮した耐震補強 | 大三(株) | 前田建設工業(株) | | | | 前田建設工業(株) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.62>0.6 | 1970 | 2016 | 供用しながらの補強、複数の補強の組み合わせ、緊急輸送道路沿線の安全確保、資産価値向上 | 供用しながら補強となるため、執務や事務所スペースに影響の少ないよう配慮し、建物の耐力増加及び偏心の改善により、建物の安全性を確保する補強とした。 | | | | | | | | |
| 46 | 46-004 | 2018年度 | 前田建設工業 | 川崎穴水ビル 事務所棟 | 川崎穴水ビル | | ○ | 外付けRCフレームMaSTER FRAME(マスターフレーム)構法による耐震補強 | (株)穴水ホールディングス | 前田建設工業(株) | | | | 前田建設工業(株) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0.62>0.6 | 1965 | 2015 | 供用しながらの補強、複数の補強の組み合わせ | ブレース材の無い外付けRC フレームによる補強『MaSTER FRAME 構法(マスターフレーム構法)』を組み合わせることによって、建物の使用性に配慮し、既存開口に影響を及ぼさない補強とした。 | | | | | | | |
| 47 | 47-001 | 2015年度 | 馬淵建設 | 東京共済病院 西館 | 東京共済病院 西館 | | ○ | 病院を稼働しながらの耐震補強 | 東京共済病院 | 構造品質保証研究所(株) | | | | 馬淵建設(株) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Ifmax<If0 | 1974 | 2015 | 外観がほとんど変わらない 狭い場所でも施工可能 供用しながら施工可能 | 病院という特性上、建物全体の稼働を停止するわけにはいかないため、部分的に補強でき、供用しながらでも施工可能な包帯補強(SRF工法)での補強工事を行うこととした。 | | | | | | | |
| 47 | 47-002 | 2018年度 | 馬淵建設 | パイロットハウス星川 耐震改修工事 | パイロットハウス星川 | | ○ | 耐震リニューアル 大規模マンションにおける複合耐震補強工事 | パイロットハウス星川管理組合 | 上甲陸一級建築士事務所 | | | | 馬淵建設(株) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | IS値>0.6 | 1980 | 2018 | 「居住しながら耐震補強」複合的耐震補強 | 本物件は「旧建築基準法」の建物で、横浜市の耐震診断を受け、補強工事が必要と判定。人命尊重型を元に設計。管理組合の建物への愛着と強い地震への備えの意向から、実施、決定。居ながらにしてできる、複合的な工法(住H P耐震、柱炭素繊維巻き補強、あと施工スリット工事)による耐震補強の採用に至った。1期、2期工事と分かれており、今回はその1期工事となる。大規模集合住宅における「居住しながら耐震補強」の紹介となる。 | | | | | | | |
| 48 | 48-001 | 2016年度 | 松井建設 | 赤坂松町公園アーバンライフ | 赤坂松町公園アーバンライフ | | ○ | 暮らし方を変えずに高いデザイン性を確保した、外付けフレーム補強による耐震改修 | 赤坂松町公園アーバンライフ管理組合 | 松井建設(株) | | | | 松井建設(株) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Is>Iso | 1972 | 2016 | 供用しながらの補強、短工期補強、建物イメージの維持、資産価値向上、助成金適用 | 本物件は、管理組合の改修に対する強い意思と設計者、施工者の粘り強いサポートにより、一般認定を取得した外付けフレーム工法を使用して、港区の耐震改修補助を活用する事により耐震改修を実現したものである。完全外付け工法の採用により居抜き改修と耐震性確保を実現し、居住者に安心を提供している。 | | | | | | | |
| 48 | 48-002 | 2023年度 | 松井建設 | 多摩美術大学上野毛キャンパス1号館耐震改修 | 多摩美術大学上野毛キャンパス1号館 | | ○ | デザインフィット工法による冬期休暇期間の耐震改修工事 | (学) 多摩美術大学 | 松井建設(株) | | | | 松井建設(株) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Is>Iso | 1962 | 2022 | 短工期施工、低騒音・低振動施工、高耐震性能 | 本物件は、冬季休暇の短期間に騒音・振動の制限、生徒の安全確保のうえ鉄骨ブレース・RC耐震壁・RC袖壁・スリット設置工事を実施した。デザインフィット工法の採用と完全外部作業で低騒音・低振動で工期内の施工を可能にした。 | | | | | | | |
| 49 | 49-001 | 2013年度 | 松村組 | K銀行S支店 | K銀行S支店 | | ○ | 銀行業務に支障なく耐震改修 | K銀行 | (株)松村組 | | | | (株)松村組 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Is>Iso | 1956 | 2012 | 銀行営業業務しながらの改修 | 銀行営業業務に極力支障を与えないように土日祝日を主に工事を行い、安震ブロック-RM耐震補強工法を採用することで銀行営業業務をしながらの作業が可能となり、お客さまからのクレームもなく、発注者からの評判も良好であった。 | | | | | | | |
| 50 | 50-001 | 2012年度 | 三井住友建設 | チュリス西麻布 | チュリス西麻布 | | ○ | 東京都緊急輸送道路沿道マンションで初めて免震改修 | チュリス西麻布管理組合 | 三井住友建設(株) | | | | 三井住友建設(株) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 地震応答解析で確認 | 1978 | 2012 | 供用しながらの改修、高耐震性能、資産価値向上、助成金適用、緊急輸送道路沿道の改修 | 管理組合の改修に対する強い意思と設計・施工者のサポートが実って免震改修を適用できた好例であり、緊急輸送道路沿道の分譲マンションとして初めて免震改修を行ったものである。免震改修構法の採用により、建物を供用しながらの改修と高い耐震性を同時に実現し、竣工後の地震を経験してその効果が居住者に実感されている。 | | | | | | | |
| 50 | 50-002 | 2012年度 | 三井住友建設 | 東京エレクトロン東北工場事務所棟 | 東京エレクトロン東北工場事務所棟 | | ○ | 東日本大震災を経験し、耐震改修と天井材改修によりBCP対策を強化 | 東京エレクトロン東北 | 三井住友建設(株) | | | | 三井住友建設(株) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 地震応答解析で確認 | 1995 | 2012 | 震災復興、BCP対策、制震ダンパー、天井材の改修 | 東日本大震災の際に天井材に被害を受けた鉄骨造の事務所建物であり、震災復旧だけでなくさらなる耐震性の向上によるBCP対策強化を目的として、制震ダンパーを用いた駆体の耐震改修と天井材の改修を行ったユニークな事例である。 | | | | | | |
| 50 | 50-003 | 2013年度 | 三井住友建設 | 浜松医療センター | 浜松医療センター | | ○ | 国内初の大規模医療施設を使用したながらの免震改修 | 浜松市 | (株)横河建築設計事務所 | | | | 三井住友建設(株) | 飛島建設(株) | 新三平建設(株) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | [上部構造]ハ' #1:許容応力度以内、ハ' #2:弾性限界耐力以内 | 1973 | 2009 | 供用しながらの改修、高耐震性能、災害拠点病院 | 耐震性の低い1号館と2号館の2棟を対象に実施した耐震改修で、改修後の耐震性と機能性の向上、工事中の運用の継続および近接する建物に対する合理的な改修の必要性から、2棟をPC鋼材により連結して一体化するとともに、免震レトロフィットを行っている。なお、本建物は免震レトロフィットを病院に適用した国内初の事例である。 | | | | | | |
| 50 | 50-004 | 2014年度 | 三井住友建設 | ボッシュ株式会社 東松山工場 | ボッシュ株式会社 東松山工場 | | ○ | 稼働中工場内での耐震補強工事 | ボッシュ(株) | (株)日立建設設計 | | | | 三井住友建設(株) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Is>0.6 | 1961 | 2013 | 工場が稼働しながらの補強、低騒音・低粉塵の施工、資産価値向上 | 本件は生産工場の耐震性向上の一環として取り組まれた案件である。本工場では順次、各種の耐震補強工事を実施しているが、工場を稼働しながらの補強工事を実施するため、生産ライン担当者・設計者・施工者で細やかな協議を行ない実施した好例である | | | | | | | |
| 50 | 50-005 | 2017年度 | 三井住友建設 | 山梨文化会館 | 山梨文化会館 | | ○ | 丹下作品初の免震レトロフィット | (株)山梨文化会館 | (株)丹下都市建築設計 | (株)織本建設設計研究所 | | | 三井住友建設(株) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | L2地震時：層せん断力は弾性限界耐力以下 | 1966 | 2016 | 放送しながらの免震改修 BCP(事業継続性)向上 外観デザインの維持 免震改修時の建物安全性向上 | 建築家：丹下健三氏の代表作の一つである山梨文化会館が築50年を迎えるにあたり、地下階床上柱脚免震レトロフィットの採用により、新聞・放送メディアを核とする建物の活動をほぼ全て維持しながら、直径約5mの円筒柱16本で構成されている。メタボリズムの思想を世界で唯一体現した特徴的な外観デザインを損なう事無く、更に50年間建物の機能維持を可能とする「山梨文化会館100年計画」を実現した。 | | | | | | |

| 会社番号 コード | シート 番号 | 作成 | 会社名 | 建物名称（正式） | 建物名称（検索用） | 種別 | 概要 | 発注者 | 改修設計者 | 改修施工者 | 都道府県 | 建物用途 (12択・複数) | | | | | | | | | | | | 規模 | 改修方法 (9択・複数) | | | | | | | | | 改修効果 | 竣工年 | 改修竣工年 | 耐震改修の特徴 | 要約 | |
|-------------|-----------|---------------|--------|--------------------------|--------------------------|----|--|--------------------|--------------|-----------|-----------|------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|-----------------|---|---|---|---|---|---|---|--------|----------|--------|-------------------------------|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | | | | | | |
| 50 | 50-006 | 2022年度 | 三井住友建設 | 旧端出場水力発電所 | 旧端出場水力発電所 | | 100年の歴史を活かした耐震補強 | 新居浜市 | (株)文化財構造計画 | 三井住友建設(株) | (株)白石工務店 | 愛媛県 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Is>Iso | 1912 | 2022 | 外部RC基礎（アースアンカー）鉄骨パットレス設置 内部小屋下鉄骨水平補強 妻壁鉄骨トラス補強 煉瓦壁引張材（アラミドロッド・ステンレス鉄筋）挿入補強 煉瓦目地アラミドロッド挿入目地置換補強 | 2011年に国の登録有形文化財（建造物）に登録された旧発電所の建物に、一般公開を目的とした耐震補強等の改修工事を実施した。耐震補強にあわせて文化財建造物としての保存修理とともに活用改修も一部行った。 |
| 50 | 50-007 | 2022年度 | 三井住友建設 | 京都先端科学大学附属中学校・高等学校 第一体育館 | 京都先端科学大学附属中学校・高等学校 第一体育館 | | 既設アリーナ屋根鉄骨を現地で補強した構造耐震補強 | 学校法人永守学園 | (株)類設計室 | 三井住友建設(株) | | 京都府 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Is>Iso | 1964 | 2021 | 既設のアリーナ屋根鉄骨を現地で鉄骨補強、1階で耐震壁を追加 | 株式会社類設計室による既存体育館の構造耐震補強の本計画では、耐震補強と共にアリーナ天井を軽量な膜天井材に更新して天井落下対策を施している。 | | |
| 50 | 50-008 | 2024年度 New | 三井住友建設 | 荒尾市庁舎耐震改修事業 | 荒尾市庁舎 | | 外付けフレーム等多様な工法を採用した市庁舎の居ながら耐震改修 | 荒尾市 | 三井住友建設(株) | 三井住友建設(株) | | 熊本県 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Is値0.6以上 | 1963 | 2016 | 居ながらの補強、低騒音、デザイン性向上、BCP（事業継続性）向上 | 荒尾市による公募型の耐震改修事業プロポーザルであった本計画は、庁舎の機能を維持しながら、居ながら行った大規模耐震改修工事である。建物外周部に庁舎の外観上の特徴である水平ラインを生かし意匠性を配慮したブレース付きのフレームを配置し強度の向上を図っている。 | |
| 51 | 51-001 | 2014年度 | 矢作建設工業 | 浜松町ビル | 浜松町ビル | | 緊急輸送道路沿道の外付け耐震補強 | 浜松町ビル管理組合 | (株)相互設計事務所 | 矢作建設工業(株) | | 東京都 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Is>Iso | 1965 | 2013 | 使用しながらの補強 高耐震性能、緊急輸送道路沿線の安全確保、助成金適用 | 本物件は、事務所・店舗・住居からなる地上10階建ての複合施設で、緊急輸送道路沿線に位置するため、早急な耐震改修を行うことが望まれていた。耐震改修工事は、居ながら施工が可能で、改修後の建物の使用に支障がない、外付けブレース補強が選定された。 | |
| 51 | 51-002 | 2015年度 | 矢作建設工業 | 宇喜田ホームズ1号棟 | 宇喜田ホームズ1号棟 | | 特定緊急輸送道路沿道マンションのCESRet（セズレット）工法・架構増設補強型による耐震補強 | 宇喜田ホームズ管理組合 | 江戸川建築設計共同組合 | 矢作建設工業(株) | | 東京都 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Is>Iso | 1981 | 2015 | 供用しながらの改修、高耐震性能、資産価値向上、助成金適用、緊急輸送道路沿道の安全確保 | 本物件は、集合住宅であるため、居住者が生活しながらの補強、補強後の採光・視界が確保できること、共用部である廊下側の補強であり補強後の居室への影響が少ないことから採用された。また、補強架構に繊維補強コンクリートを用いることにより、鉄筋の配筋手間が減り、工期の短縮が図れたため、工事期間中の住民負担を軽減できた。 | |
| 51 | 51-003 | 2015年度 | 矢作建設工業 | 白亜ダイヤモンドマンション | 白亜ダイヤモンドマンション | | 特定緊急輸送道路沿道マンションのCESRet（セズレット）工法による供用しながらの施工の実現 | 白亜館ダイヤモンドマンション管理組合 | (株)スライコウ | 矢作建設工業(株) | | 東京都 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Is>Iso | 1979 | 2015 | 供用しながらの改修、高耐震性能、資産価値向上、助成金適用、緊急輸送道路沿道の安全確保 | 本物件は、集合住宅であるため、居住者が生活しながらの補強であり、補強後の採光・視界が確保できることから採用された。また、補強架構に繊維補強コンクリートを用いることにより、鉄筋の配筋手間が減り、工期の短縮が図れたため、工事期間中の住民負担を軽減できた。 | |
| 51 | 51-004 | 2015年度 | 矢作建設工業 | 公益財団法人 積善会 曽我病院 北館A棟・C棟 | 積善会 曽我病院 北館A棟・C棟 | | 入院患者に配慮したビタコラム工法による病室を供用しながらの補強の実現 | 公益財団法人積善会 | (株)ツール工房 | (株)ヨシオカ設計 | 矢作建設工業(株) | 神奈川県 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Is>Iso | 1980 | 2014 | 供用しながらの補強 高い耐震性能 構造的にバランスの良い補強配置 | 本物件は、総病床数399床で特に精神疾患の急性期治療・精神科リハビリテーション・認知症疾患の治療に力を注いでいる。そのため、入院患者の治療に支障を出さない、病室を供用しながらの補強が可能である外付けブレース補強が選定された。 | |
| 51 | 51-005 | 2015年度 | 矢作建設工業 | 大阪大学（吹田）工学S1棟 | 大阪大学（吹田）工学S2棟 | | 強度と靱性を兼ね備えた外付け耐震補強CESRet（セズレット）工法 | 国立大学大阪大学 | (株)類設計室 | 矢作建設工業(株) | | 大阪府 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Is>Iso | 1970 | 2015 | 使用しながらの補強 高耐震性能 短工期施工 | 本対象物件は、地上9階建て、桁方向梁がウォールガーターで構成されている比較的剛性の高いRC高層建物であったため、強度と靱性を兼ね且つ、合理的（ローコスト）で建物使用の制限を最小限に抑える改修工法が求められていた。改修工法は強度型で且つ靱性のあるCESRet工法が最も合理的と判断され、採用に至った。 | |
| 51 | 51-006 | 2015年度 | 矢作建設工業 | D団地 | D団地 | | 生活の維持を確保した外付け耐震補強CESRet（セズレット）工法 | 都市再生機構西日本支社 | (株)URサポート | 矢作建設工業(株) | | 大阪府 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Is>Iso | 1970 | 2015 | 使用しながらの補強 高耐震性能 短工期施工 | 本対象物件は、総戸数400戸の中廊下型集合住宅であるため、耐震補強工事の実現性、事業性を確保するとともに、工事は住民が生活しながら、負担が少なく、安全、短期間であることを目標とし計画が行われた。また耐震補強後には、生活の動線や居住性能が大きく変わらないこと、採光・眺望についても生活に支障が出ない工法が選定された。 | |
| 51 | 51-007 | 2016年度 | 矢作建設工業 | 喜多見ハイツ | 喜多見ハイツ | | 特定緊急輸送道路沿道マンションのCESRet（セズレット）工法による供用しながらの耐震補強 | 喜多見ハイツ管理組合 | (株)構設計事務所 | 矢作建設工業(株) | | 東京都 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Is>Iso | 1974 | 2016 | 供用しながらの改修、高耐震性能、資産価値向上、助成金適用、緊急輸送道路沿道の安全確保 | 集合住宅である本物件は、居住者が生活しながらの耐震補強が可能であり、補強後の採光・視界が確保できることから外付けフレーム補強CESRet工法が採用された。また、補強架構に繊維補強コンクリートを用いることにより、鉄筋の配筋手間が減り、工期の短縮が図れたため、工事期間中の住民負担を軽減できた。 |
| 51 | 51-008 | 2016年度 | 矢作建設工業 | 高輪ホワイトマンション | 高輪ホワイトマンション | | 特定緊急輸送道路沿道マンションのCESRet（セズレット）工法による供用しながらの耐震補強 | 高輪ホワイトマンション管理組合 | (株)あくまと総合計画 | 矢作建設工業(株) | | 東京都 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Is>Iso | 1972 | 2015 | 供用しながらの改修、高耐震性能、資産価値向上、助成金適用、緊急輸送道路沿道の安全確保 | 本物件は、集合住宅であるため、居住者が生活しながらの補強であり、補強後の採光・視界が確保できることから外付けフレーム補強CESRet工法が採用された。また、補強架構に繊維補強コンクリートを用いることにより、鉄筋の配筋手間が減り、工期の短縮が図れたため、工事期間中の住民負担を軽減できた。 |
| 51 | 51-009 | 2016年度 | 矢作建設工業 | 日生住宅目黒マンション | 日生住宅目黒マンション | | 特定緊急輸送道路沿道マンションのビタコラム工法フレームタイプによる耐震補強 | 日生住宅目黒マンション管理組合 | (株)東京ソイフルサーチ | 矢作建設工業(株) | | 東京都 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | Is>Iso | 1972 | 2015 | 供用しながらの改修、高耐震性能、資産価値向上、助成金適用、緊急輸送道路沿道の改修 | 本物件は集合住宅であるため居住者が生活しながらの補強が可能で、補強前後で専有面積が変わらず、補強後の採光・視界が確保できるビタコラム工法は使い勝手が低減しないことから採用された。 |

| 会社 番号 コード | シート 番号 | 作成 | 会社名 | 建物名称(正式) | 建物名称(検索用) | 種別 | 概要 | 発注者 | 改修設計者 | | | | 改修施工者 | | | | 都道府県 | 建物用途 (12択・複数) | | | | | | | | | | | | 規模 | 改修方法 (9択・複数) | | | | | | | | | | | | 改修効果 | 竣工年 | 改修竣工年 | 耐震改修の特徴 | 要約 | | | | | | | | | |
|-----------------|-----------|--------|--------|--------------------------|--------------------|----|-----------------------------------|---------------|-----------|--|--|-----------|-------|--|--|--|------|------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|----|-----------------|--|--|--|--|---|----|---|---|---|---|--|------|-----|-------|---------|----|--|--------|------|------|--------------------------|---|------|----------------------|--|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 51 | 51-010 | 2019年度 | 矢作建設工業 | パシフィックホテル沖縄 | パシフィックホテル沖縄 | ○ | 景観・眺望の維持を確保した外付け耐震補強ビタコラム工法・フレーム型 | パシフィック観光産業(株) | (株)総合企画設計 | | | 矢作建設工業(株) | | | | | 沖縄県 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 11 | 1 | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | Is(0.44)>Iso(0.42) | 1973 | 2018 | 使用しながらの補強高耐震性能、短工期施工 | 本建物は地下1階、地上11階、塔屋2階の鉄骨鉄筋コンクリート造のホテルである。耐震補強工事の実現性、事業性を確保するとともに、工事は運営に極力影響を与えることなく、安全、短期間であることを目標とし計画が行われた。また耐震補強後には、宿泊客の動線が大きく変わらないこと、採光・眺望についても支障が出ない工法が選定の条件であったことから、外付工法による使用しながら施工が採用となった。 |
| 52 | 52-001 | 2015年度 | 名工建設 | 愛知銀行今池支店耐震補強工事 | 愛知銀行今池支店 | ○ | 営業しながら施工・室内の開放性を確保した耐震補強 | (株)愛知銀行 | 名工建設(株) | | | 名工建設(株) | | | | | 愛知県 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 0 | ○ | ○ | | ○ | | | | | | | | Is>Iso | 1970 | 2015 | 供用しながらの改修、低騒音・低振動・低粉塵の施工 | 本物件は、建物内部に耐震補強を実施した例である。補強における発注者の意向は、耐震改修工事をする上で、営業しながら施工できること及び補強後も用途を損なわないことであった。これを踏まえて、SMIC工法ロ型タイプ3構面による補強を銀行窓口休業日のみで施工した結果、営業に支障を来すことなく、用途も確保した補強を行うことができた。 | | | |
| 52 | 52-002 | 2016年度 | 名工建設 | (学)大阪成蹊学園高等学校1・2号館耐震補強工事 | (学)大阪成蹊学園高等学校1・2号館 | ○ | 夏休み期間内に耐震改修全49構面を実施37日間で施工 | (株)掛谷工務店 | (株)掛谷工務店 | | | 名工建設(株) | | | | | 大阪府 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 | 1 | ○ | ○ | | | | | | | | | | Is>Iso | 1971 | 2015 | 短工期施工、低騒音・低振動・低粉塵の施工 | 本物件は、建物外部に耐震補強を実施した例である。補強における発注者の意向は、夏休み期間内に耐震補強工事を完了することおよび補強後も教室の開口面を確保することであった。これを踏まえて、SMIC工法ロ型タイプ49構面による補強を行った結果、夏休み期間内に機能的・採光への影響を抑えた補強を行うことができた。 | | | |